

2019年11月25日

明豊ファシリティワークス株式会社


『テレワーク活用で競争優位性確保』

---



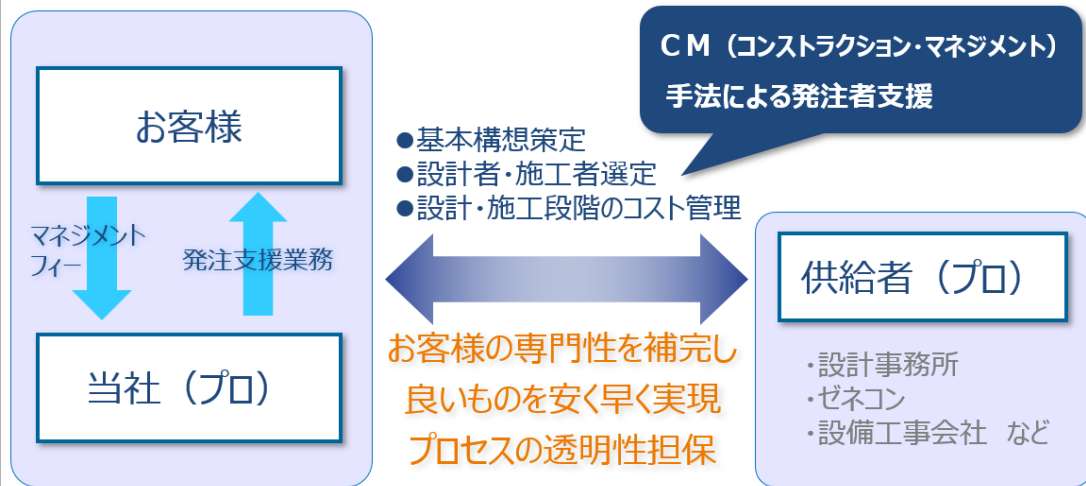
**Meiho Facility Works Ltd.**  
Architecture, Interiors, Planning, IT, M&E Engineering, Project Management

# 会社概要

会社名	明豊ファシリティワークス株式会社		
代表取締役	会長 坂田 明 社長 大貫 美	従業員数	229名（2019年7月末時点）
設立	1980年9月12日	上場市場	東証一部 
資本金	5.43億円	事業所	東京（本社）東京都千代田区平河町二丁目7-9 大阪（支店）大阪府中央区久太郎町三丁目6-8

## CMのビジネスモデル概念図

当社は、建設業界における「発注者支援業務のプロ」として完全中立・ベンダーフリーの立場でお客様の最大利益を実現



## 企業理念

フェアネス

透明性

顧客側のプロ

# CMプロジェクト事例紹介

## □ オフィス構築、働き方改革プロジェクト



## □ 民間CMプロジェクト



## □ 公共CMプロジェクト



※ 出典: 各機関ホームページより

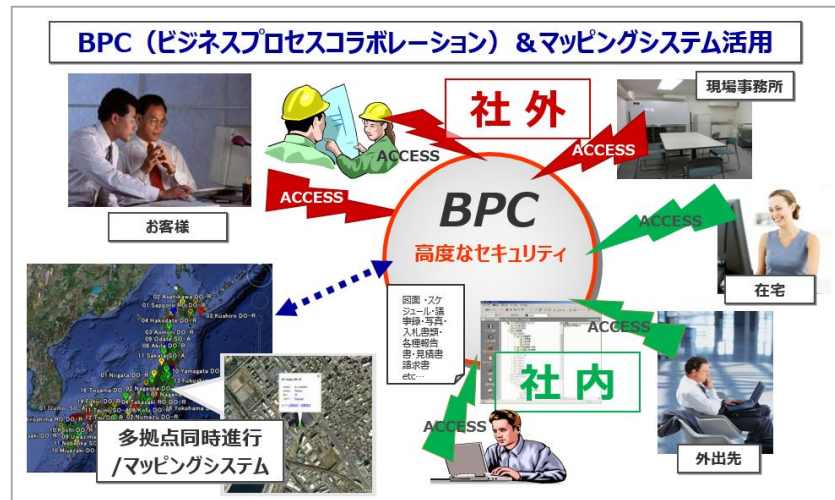


# 当社のテレワーク環境

## 1) ペーパーレスの徹底

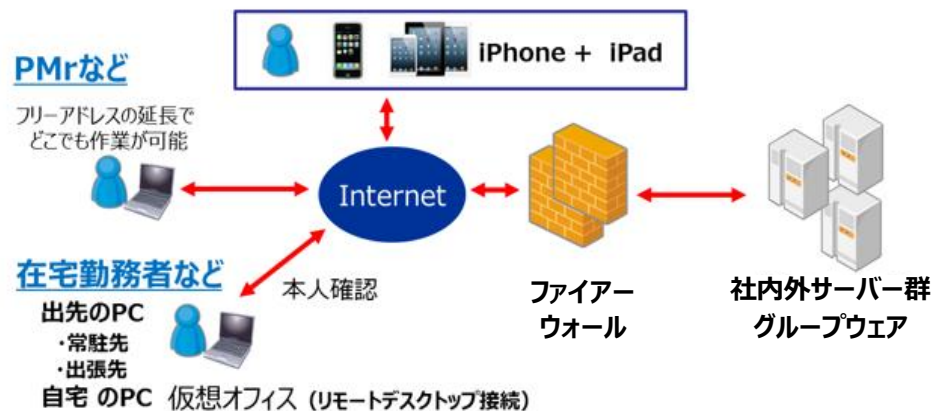


## 2) 社外事業体とのテレワーク協業



## 3) 自社内テレワーク環境

**全社員** ペーパーレスで資料の確認や承認を可能としたセキュアな端末をPCに加えて配布



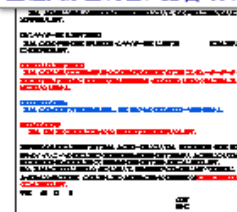
## 4) セキュリティ対策

2006年 ISMS Ver2.0 及び BS7799 Part2 2002 の認証全社同時取得  
 2007年 ISO27001に移行 認証取得  
 2014年 ISO27001 2013・2014規格へ更新

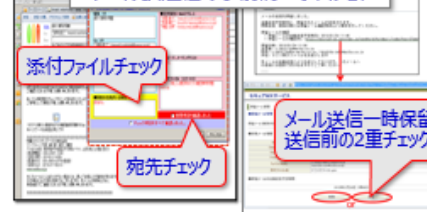


情報セキュリティマネジメントシステム  
 ISO/IEC 27001:2013/JIS Q 27001:2014  
 認証登録番号: IS 500521

全社員が誓約書に記名・捺印



メール誤送信の事前防止システム



## 1) サービス品質向上

- ・ 顧客本位の専門性と創意工夫で要求品質確保、工期短縮、コスト縮減を実現し顧客の信頼獲得
  - ⇒ プロジェクト情報のデータベース化で学習を繰り返す
  - = プロジェクトプロセスの可視化と共有、情報発信前の社内第三者の検証徹底でサービス品質を確保し発注者の安心感を得る

## 2) 生産性向上

- ・ フィービジネスの生産性向上はデジタルな働き方（テレワーク）徹底
  - ⇒ 全社員の日々の(行動)を、自社開発したマンアワーシステムで定量的(分単位)に測定・分析することで、労働生産性向上による投資効果を確認し、テレワーク環境整備に納得感を持って取り組めた

# 「デジタルな働き方」への制度設計とシステム開発

## 1) マンアワーシステムによる個々の社員の生産性定量化

- ・ 個別プロジェクトの収益管理による全社管理会計の精度向上
- ・ 個人の能力(価値の提供)向上の納得感を高め、人事評価・処遇への反映や目標達成意欲の喚起、能力向上に向けての課題設定を支援する

## 2) 個々の社員の労働時間可視化で、働く場所に関らず過重労働を未然防止

## 3) テレワークに即した就業規則改定や納得感を目標とした人事制度、組織編制

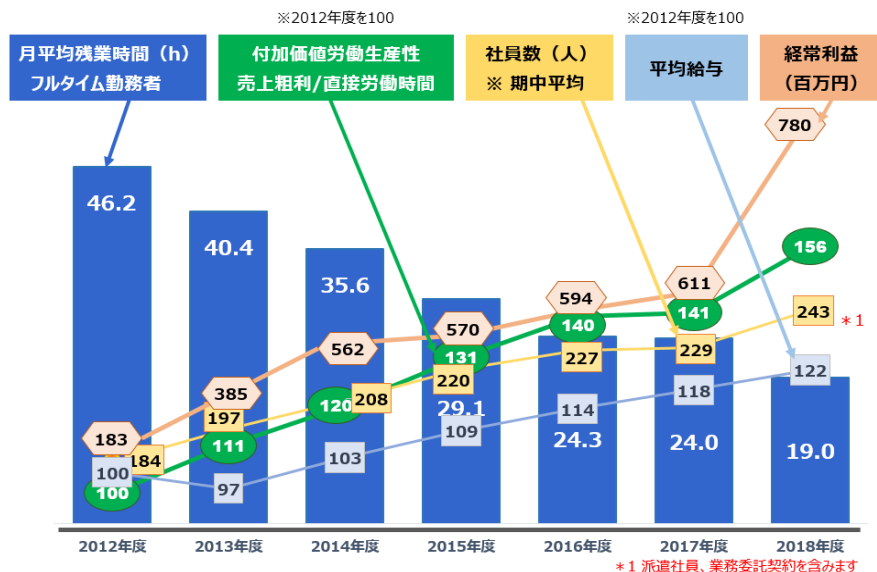
## 4) テレワークポリシーの徹底で、働き方改革やセキュリティへの社員の自覚を促がす

## 5) テレワーク関わる情報システム構築や環境整備は、「内製化」によって日々の社員の創意工夫を積極的に活用し達成感を高める

社員の相談窓口 ⇔ 「データ活用推進室」 ⇔ 「情報システム部」

# テレワーク環境活用の成果

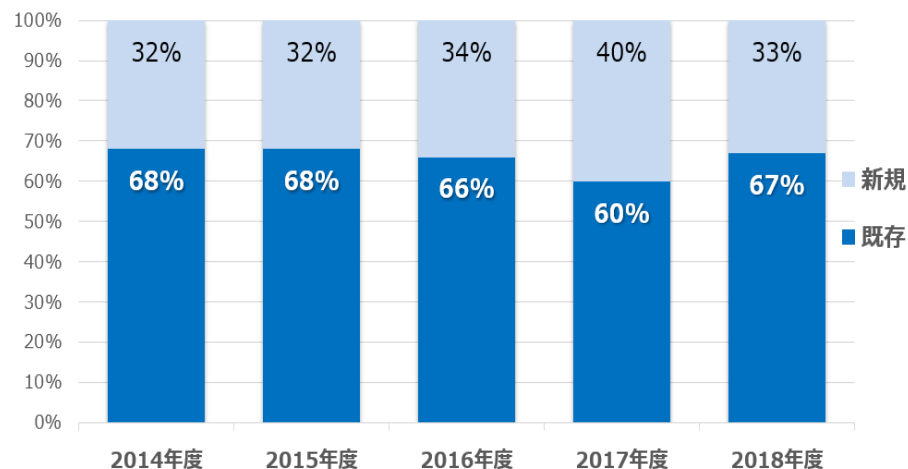
## テレワーク活用の定量効果



時間外手当支給実費減少分を給与・賞与で還元

## プロジェクトのリポート受注率推移

顧客満足度向上による高いリピート受注割合の確保



### 1) 今後の課題

- デジタルな働き方の仕組みが整備されるほど、社員は「蓄積された情報の切り貼り」で仕事が出来ると錯覚してしまい、「自分自身で考えることを放棄」する懸念がある

### 2) 今後の取組方針

- 「血の通った人間性」を大切にしながら、テレワーク活用で「より賢く働く」